

香港問題から国際的連帯を考える

—私たちは自由で開かれた民主社会のために何が出来るか—

場所：衆議院第一議員会館 1階大会議室 2020年6月9日（火）15時～17時

【第一部】香港で今何が起きているのか～国際的連帯の現状とその意義～



アグネスさん

【日本に伝えたいこと】

- ・逃亡犯条例&国家安全法に対して、香港の報道に関心を抱く日本人が増えた
- ・100名以上の議員さんが署名してくれたことに感謝
- ・国家安全法による一国二制度の崩壊は日本のみならず、国際社会にも影響を与える
- ・他の議員さん、政府の皆さんにも国家安全法に関心を持ってもらえれば・・・

【日本に期待すること】

- ・日中の経済状況は重要だが、日本は経済のみならず人権面も重視して欲しい
 - ・日本の民主主義がアジアの人権に関する意見を持ち、立場を示すべき
- ⇒ それが出来なければ、香港の日系企業、邦人も被害を受ける



サム・イップさん

【日本に伝えたいこと】

- ・署名運動に日本の議員さんが100名以上賛同したことに驚き、関心をもち続けて欲しい
 - ・経済面について、香港は政治のみならず新しい経済圏の動きもあった
 - ・香港はアジアの金融センター（返還後、香港特別的地位を占めて来た）
- ⇒ 国際社会にとって重要な立ち位置
- ・日本の企業も投資、支社を構えて中国への進出基盤に



山尾先生

【日本として何が出来るか】

- ・アメリカは、世界で見逃せない人権侵害があった場合は、自国に関係なくても国会主導で問題に向き合える土壌（制度面・法制度 等）がある
 - ・安倍総理もG7でこの事態について発することが報じられている
- ⇒ そのために国会で何か進展を作りたい



サム・イップさん

【山尾先生への回答】

- ・香港の日系企業・邦人を守る法案が、香港の問題に対する中国へのけん制になる
 - ・香港への日本の農産物輸出が多い、この点にも注目すべき
 - ・「民主主義国家でなければ資産を置けない」という言葉がある
- ⇒ 国家安全法が執行されれば、日本の香港内資産も危険
- ⇒ これを守るための法案を作成すればよいのではないか



長島先生

- ・日本の議員は700名おり、そのうちの100名か・・・という思いがある
 - ・署名に関するツイートをするとなん千、何万の「いいね」が来た
 - ・経済に関して、中英間では基本合意がある
- ⇒ 一国二制度は50年間、社会主義政策を実施しないことを制定
- ⇒ 中国政府の国家安全法は反対のことを実施している



アグネスさん

- ・中国は返還前に基本法で一国二制度、50年不変などを約束
- ⇒ しかし、北京政府は全く約束を守っていない。一国一制度に近づいている。
(雨傘の際には香港の選挙制度に介入。トンロー湾書店の書店員は拉致。)
- ・今回のような国際的な交流を中国政府は懸念している
- ⇒ 国家安全法はこのような交流を阻止したいことが目的
- ・「自分の家」が中国にコントロールされたくない、香港が香港であるために闘っている
 - ・国際社会と連帯し、中国の人権侵害を監視していることを示さないといけない。



中谷先生

- ・香港には多くの日系企業があるものの、そこで自由が無くなることは許されない
- ・2047年までの約束を守らないと国家間関係にも影響を与える
- ・香港の自由のために大いに声をあげる、また国際連帯する



サム・イップさん

- ・自分とアグネスさんが香港の状況を国際社会に伝えられれば、それは意義がある
- ・今の香港警察は民意すら無視している
- ・中国は信頼関係を失うことを避けなければならない



アグネスさん

【最後に】

- ・明日何が起きるか分からない状況、日本を含めて国際社会に関心を持ってもらえれば
- ・国家安全法がもたらす日本への影響も考えてほしい
- ・本当の意味で民主的な社会の構築を願う



サム・イップさん

【最後に】

- ・国際連帯についてお話し出来て良かった
- ・日本とともに密接な動きを取れたらと思う

【ビデオ紹介】

①リョウ・ショウコウさん：中国語にて割愛



②香港からの
亡命者の方

今の香港の状況は想像できないものです。数えきれない人々が逮捕&行方不明になっています。ある15歳の女の子、クリスティちゃん、民主化の運動で友だちと連絡をとっていました。ある日、クリスティちゃんは裸で死体が発見されました。警察は自殺と断定。これが今の香港です。亡くなった人のみならず、居住者は困難な状況にいます。通常、逮捕されても、聴取されるだけですが、香港ではセクハラされたり、おかしい液を飲まされたりします。レイプされた人もいます。これが今の香港警察の行いです。権力を使用し暴力を止めるという名目で暴力を行う。香港は外国から見ると発展した都市とみられますが、今の香港では香港人は政府と警察に抗議で示さなければいけません。デモ参加時に傷ついても病院にいけない（警察が待ち構えている可能性）。亡命者はこの争いを諦めない。自分たちの責任のもと、出来ることをする。香港、人権を守りたい皆さん、私たちを守ってください。



堀潤さん

【香港警察 OB へのインタビューから】

「今の警察の警棒の持ち方は私たちが習った持ち方とは違う」



ダンカン・スミス

- ・国家安全法の施行により香港を虐げようとしている
 - ・自由世界の一員として、香港の自由を支えなくてはならない
- ⇒ 香港のみならず東南アジアや世界にとっても意味を持つからである
- ・人権、自由などの国際基準を一国の振舞いによって破壊されてはならない
 - ・署名した日本の議員に謝意を表すとともに私たちは団結しなければならない

【第二部】



笠井亮先生

- ・弾圧は決してあってはならない
- ・香港人「自らの切実な要求に対して我々は動く」
- ・日本としてこの人権問題にどのように向き合っていくのか
- ⇒ 700人の議員が立場を越えて、また国民も声を上げる
- ・世界が監視していることを中国に示す
- ⇒ 人権問題は内政干渉では済まされない
- ・超党派で議論を進めたい、世界の民主主義が危険に晒されている



城内実先生

- ・笠井先生の見解に同意
- ・中国は「内政干渉」だと言うが人権問題は国際問題、他の国にも普及する
- ・内外から声を上げなければならない、国家の権力で社会運動が弾圧されてはいけない
- ・中国モデルの事例を広めてはいけない、自由主義・民主主義の価値を守りましょう



大西先生

- ・内政干渉の問題ではない
- ・コロナの混乱に乗じた自由・人権問題を力で変えていくのは断じて許されない
- ・世界共通の理念が必要「自由・人権」等



串田先生

- ・表現を行うだけで収監されるなど許されない
- ・日本も毅然とした態度で応じる必要がある

【ディスカッション】法整備に関する一体感をどう作っていくか？



長島先生

- ・歴史的な貸し借りもあり外交姿勢に示せないこともあるが、対応をしなければならない
- ・普遍的な意味での人権保護法案は訴状に乗せていきたい
- ・当分は国会決議を話し合うことになるだろう
- ・各政党でまとまらないといけない、そのために署名に切り替えた
- ・超党派的に行動を取り、各政党議員が上層部に連帯を問いかけていく



山尾先生

- ・国際連携を広げていかなければいけない
 - ・日本の議員として何をすべきか？
- ⇒ ダンカン・スミス氏を中心に世界の議員が集まって中国の人権問題を解決しようと動いている。アジアに位置する日本がその中に入り、人権、法の支配を訴えていく必要がある。



桜田先生

- ・中国のことは信用してはいけない
- ・一国二制度を守ることを主張する



村上先生

- ・立憲はまだ議論していない
- ・中国・香港のみの話ではない
- ・日本にもいつ危機が来てもおかしくないという姿勢を持たなければならない



メグロさん
(フリーランス)

- ・経済界の人たちをどう巻き込むか
- ・リベラルの活動が鈍い、この人たちへの働きかけも一つの方法
- ・中国に対する圧力としてしっかりと声をあげるべき



長島先生

- ・次回は香港の邦人ビジネスマンの意見を聞くことも検討する
- ・リベラルな立場の人たちの動きも必要
- ・経済的な利益に関して北京の政治家に考えてほしいのは「香港の国際金融」機能に恩恵を受けてきたこと、それを理解してほしい



中谷先生

- ・台湾のことも同時に考える
- ・中国船の日本領海侵犯
- ・日本の地方都市と香港も金融で繋がっている



井上さん
(質問者)

- ・700人のうちの100人は情けなくないか
 - ・まずは文言で同意すべき
- ⇒ 中国は実施するために法案を通して、今後暴力の連鎖が発生する危険性
- ・その中で日本に何が出来るか、今までの日本は経済を重視してきた(人権軽視)
- ①決議、②法的手段、③外交、④経済制裁、このようなシナリオを具体化する必要がある



山尾先生

- ・国会決議の次を見据える必要がある
- ・制裁には支援も考えられる
- ・政府にしがらみがあり動けない時にも国会は動ける。調査、報告を行う
- ・そのような仕組みを作ることがブレーキになる
- ・国会決議の文言を始めとして、ダイナミズムを作り出したい



倉田先生

- ・国家安全法を止めるには難しい
- ・法案の内容が人権・民主に関してどれだけ害が少ないもの出来るかという外交交渉が必要
- ・我々が細かく見ているということを中国に伝えてほしい



阿古先生

- ・超党派で集まっただき感謝
- ⇒日本国内のイデオロギーの差から一体感を生めないこともあった
- ・【短期的に】香港の傷ついている人たちに対して、難民支援などの受け入れ土壌を作る
- ⇒ 中国の人権弁護士の受け入れを行っていた、短期的にも救済を行う政策を
- ・【中国に対する見方】頑張って政治を変えたい人がある、その人たちにも目を向けてほしい



マホメッドさん

ウイグル系日本人

- ・香港問題だけではなく、ウイグル問題が存在する
- ⇒ ここ数年間、日に日に悪化、国際社会から厳しく非難されている
- ・香港ではカメラが入ることができ、国際社会から注目されている
- ⇒ 情報を全て遮断するようになり、国際社会の目が入れない状態になると想像できない人権侵害が起こる。ウイグルの状況がこれにあたる
- ・アメリカは何度も公聴会を開いている
- ・日本とも無関係ではない
- ・政治対立が激しいアメリカでも政党を越えて全会一致
- ⇒ 【質問】日本の政界の皆さまがウイグル問題にどのような認識を持っていますか



中谷先生

- ・情報が十分に伝わっていない
- ⇒ 北朝鮮による拉致も認知されていなかった
- ⇒ 香港に関しても発言力が弱まると情報が入らなくなる
- ・日本としては新疆ウイグル自治区に関して国会議員が超党派で行動を取る



桜井シュウ先生

- ・香港の様々な立場の方に話を聞いてきた。
- ⇒ 更にひどい状況にならないように耐えている状態である
- ・香港、ウイグルで大変な方々、中国の民主派で頑張っている方々をサポートしていく



山尾先生

- ・ウイグルの問題に関しても取り組むと声明に入っている
- ・中国への好き嫌いの感情でしていることではないこと伝え、より多くの人の支持を得る
- ・どこの国であれ、公平に人権問題に声を上げることが日本にとって重要
- ・基本的人権のうえに統治がある



倉持さん

- ・人権は国家、憲法を越えて普遍と考えられている
- ⇒ しかし、政策は国対委員会の承認の有無で出来る事出来ない事決めている：民主の病理
- ・選挙で人権的価値を踏み絵にして代表者を選ぶ基準に



仁木さん

- ・100人しか賛同していないのは国民の責任でもある
- ・有権者として出来ることは、香港問題にどのような対応をしているか、理念を持っているか、選挙を通じて判断する

以上。